



令和〇年七月〇日

志摩市議会議長

濱口 卓 様

コミュニティセンター(元公民館)に係る管理事務費  
の算定方法の見直しを求める請願書

紹介議員

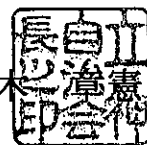
氏名 前田 俊基  
氏名 濱野 由人  
氏名 渡辺 友里夏  
氏名 濱村 昭雄  
氏名 堀江 (研)

請願者

神明自治会 会長 溝口 幸夫



立神自治会 会長 鈴木



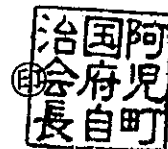
志島自治会 会長 向井 正明



甲賀自治会 会長 島田



国府自治会 会長 野口 薫



安乗自治会 会長 尾崎 完治



## 1 請願の趣旨

阿児町内には、市内でも比較的人口が多く、地域活動も活発な自治会がいくつもあります。これらの地区が管理するコミュニティセンター(元公民館)では、住民の入れ替わりや生活環境の変化により、利用に関する相談や問い合わせに幅広く対応している状況です。

また、自治会の役員体制は高齢化が進んでおり、こうした地域社会の変化への対応には、これまで以上に手間や時間を要する場面が生じています。

しかしながら、現在の管理事務費(年間6万円)では、どの施設も同じ金額で、地域の置かれている状況が反映されていません。

これは阿児町に限らず、市内全地域に共通する制度の課題であることから、地域ごとの実情に応じた管理事務費(人の配置予算)の算定基準の見直しを求めます。

## 2 請願の理由

阿児町内の比較的規模の大きい自治会では、若い世代や移住者の転入などもあり、住民構成の多様化が進んでいるため、施設の利用目的や相談の内容も幅広くなっています。こうした中で、利用の受付、鍵の管理、利用者への説明、苦情や問い合わせへの対応等、管理にかかる事務の量と手間は確実に増えております。

しかし現在の制度では、人口規模や利用状況の違いに関わらず、管理事務費は全地区一律の年間6万円であり、実態とのずれが生じているのが現状です。

コミュニティセンター(元公民館)は、地域の集まり、高齢者の見守り、子供たちの活動、防災上の拠点等、さまざまな役割を担っています。

この場所を今後も無理なく守り育てて行くためには、地域の状況に応じた適切な管理事務費(人の配置基準)が必要であると考えます。

以上の理由により、管理事務費の算定方法について、地域の実情を踏まえ根本的な見直しを求めます。

### 3 求める事項

- (1) コミュニティセンター(元公民館)の管理状況の実態をあらゆる角度から調査すること。
- (2) 人口規模、利用件数や日数、問い合わせの多様性、地域ごとの管理負担を適切に反映した算定方法を検討すること。
- (3) 地域住民の活動が持続継続されやすいよう、必要な管理体制とそれに伴う財政処置(人件費の増額)を検討すること。